

MUSEUM CALENDAR

2024.4 - 2025.3



「ハブアライストリップ!」 2018年

© Tatsuya Tanaka

特別共催展
ミニチュア ライフ
MINIATURE LIFE 展 2
田中達也 見立ての世界
2025年2月8日(土)～3月24日(月) [会期中無休]

令和6年度 米子市美術館 年間スケジュール

施設利用のご案内

◎ 展示室使用について

米子市美術館では、市民のギャラリーとして一般の方にも展示室を貸出しています。使用される方は、米子市内・市外及び個人・団体を問いません。営利を目的としない美術作品発表の場としてご利用ください。(展示室の空き状況や、使用の手引きなど詳しくはお問い合わせください。)

展示室使用料 (税込/単位: 円/1日)

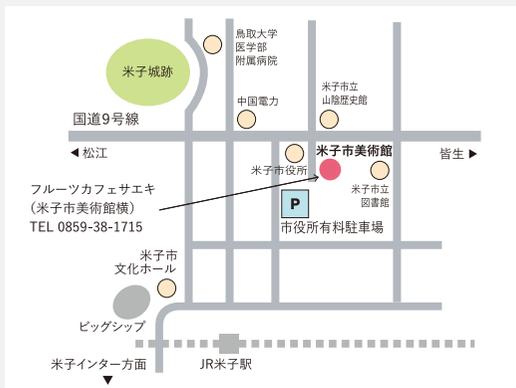
- ・第1展示室・・・ 5,240 (6,280)
- ・第2展示室・・・ 7,860 (9,430)
- ・第3展示室・・・ 5,240 (6,280)
- ・第4展示室・・・ 10,480 (12,570)
- ・第5展示室・・・ 2,610 (3,130)

※()内は冷暖房使用期間の料金 [冷/6/15～9/15、暖/12/1～3/31]

使用料の単位 = 1日 (10時から18時までの8時間)
使用期間が1日未満の場合は1日として計算します。
ただし準備または原状回復のために4時間以内で使用する場合は上記料金の半額。上記に定める時間外に延長使用する際には、事前申請のうえ、別途延長使用料が必要です。

◎ 交通アクセス

- JRご利用の場合:
JR米子駅から約1,000m
JR米子駅前から各方面行きバス(除/松江方面)
市役所前下車(所要時間約5分)
- お車の場合:米子自動車道・米子インターから約20分
米子市役所料駐車場をご利用ください。
美術館ご利用の方は駐車券を受付までお持ちください。
2時間以内無料の処理を行います。
※当館横に身体障がい者用2台・ハートフル駐車場2台を用意しています。



米子市美術館

〒683-0822 鳥取県米子市中町12番地
TEL 0859-34-2424 FAX 0859-33-0679
E-mail art-museum@yonagobunka.net

教育普及事業

◎ ミュージアムスクール

第1回 ワークショップ「書に親しもう!!」

①「チャレンジ篆刻 -方寸の世界-」

日時: 8月11日(日)
10:30～12:30[小学4年～中学3年]、14:00～16:00[一般]

内容: 篆刻作品作り
講師: 遠藤米子人氏(篆刻家)
定員: 10人[小学4年～中学3年]、15人[一般]
(要事前申込、6/15[土]申込受付開始)

会場: 米子市美術館 第5展示室
参加費: 1,500円程度(材料費、保険料含む)

②「生活の中の書作品を作ろう」

日時: 8月12日(月・祝)
10:30～12:30[小学4年～中学3年]、14:00～16:00[一般]

内容: Tシャツやハンカチ、色紙などに好きな字を書こう
講師: 当館学芸員ほか
定員: 各10人(要事前申込、6/15[土]申込受付開始)
会場: 米子市美術館 第5展示室
参加費: 1,500円程度(材料費、保険料含む)

③「書いてみよう!!」

特別企画展「米子の書 -先人と現代書の祭典-」会期中 ※日程場所等詳細未定

米子市美術館・米子市立山陰歴史館・米子市公会堂連携事業 米子市文化財団フレイル予防事業

第2回 アートな散歩 中心市街地を巡る ※悪天候の場合は中止

日時: 10月14日(月・祝) 14:00～15:30

内容: 米子市の中心市街地にある野外彫刻や建築家・村野藤吾の設計により1958年に山陰随一の文化の殿堂として建設された米子市公会堂などの歴史的建築物を巡ります。

定員: 15人(要事前申込、9/1[日]申込受付開始)
集合場所: 米子市立山陰歴史館
参加費: 無料

第3回 美術上映会「ディリリとパリの時間旅行」(日本語吹替版)

日時: 2025年1月12日(日) 14:00～16:00頃 ※13:30開場

内容: ベル・エボックの美しいパリで、少女ディリリがピカソ、モネ、ロートレックらと出会い誘拐事件の謎を解いていく冒険譚。

定員: 40人(要事前申込、12/12[木]申込受付開始)
会場: 米子市美術館 第1展示室
参加費: 無料

・ギャラリートーク(展示解説) ※要観覧料
コレクション展会期中の指定土曜日14:00～

・出前講座(日程・内容・会場はご相談に応じます)
学芸員が公民館等に出向き美術に関するレクチャーなどを行います。

開館時間: 10:00～18:00

休館日: 毎週水曜日(5/1、5/8は開館)・年末年始(12月29日～1月3日)
ただし、特別共催展(MINIATURE LIFE 展2)、市展、県展会期中は無休。

※展示替及び施設、設備メンテナンスを行う際は閉館する場合があります。

※その他イベントに関しては詳細決定次第、チラシ、ポスター、当館ホームページ、広報よなご等でご案内いたします。

米子市美術館ホームページ ▶ <http://yonagobunka.net/y-moa>



特別共催展 I
佐藤健寿展 奇界 / 世界

会場：第1~4 展示室

会 期：4月7日(日)～5月26日(日)
[水曜日休館 ※ただし 5/1(水)・5/8(水)は開館]

観覧料：一般・高大生 1,300 (1,000) 円、中学生以下無料
* () 内は前売、一般で15人以上の団体、障がいのある方 [付添1人を含む] の料金
* 70歳以上の方、小中高大生で15人以上の団体や障がいのある方 [付添1人を含む]、米子市美術館後援会、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」ご持参の方など、当日料金の50円割引 (割引重複利用不可)
主催：米子市、米子市教育委員会、(一財) 米子市文化財団 米子市美術館、山陰ビデオシステム、朝日新聞社

特別協賛：サテライトコミュニケーションズネットワーク
協力：国立民族学博物館、ピクトリコプリント工房、フレームマン

これまで世界120カ国以上を巡り、各地のありとあらゆる“奇妙なもの”を対象に撮影を続けてきた写真家・佐藤健寿。独特の視点で切り取られる、世界中の多様な文化や建築・自然が生んだ奇景・奇妙に見える風俗を持つ人々などの不思議な世界は、見る者の好奇心と想像力をかき立ててきました。本展では、佐藤健寿の造語をタイトルとして出版され、人気を博した代表作『奇界遺産』をはじめ、過去20年にわたる旅をシンプルな視点で捉えた『世界』、国立民族学博物館所蔵の民族資料、さらに当館展示のために山陰地方で撮り下ろした作品など、200点あまりを一堂に展示します。山陰地方初開催の佐藤健寿展となります。ぜひ会場で“奇界 / 世界”をご堪能ください。



《ネネツ／ロシア》2018年 © KENJI SATO

第63回 米子市美術展覧会 (市展)

会場：全館

会 期：6月14日(金)～6月22日(土) [会期中無休]
観覧料：無料 作品搬入日：6月9日(日) 10:00～16:00
搬入場所：米子市美術館
部 門：洋画・日本画・書道・写真・工芸・彫刻・デザイン
出品点数：洋画・書道・デザインは1点、日本画・写真・工芸・彫刻は2点まで
出品料：1点につき1,000円 [高校生又は18歳以下は無料]
* 出品資格や規格など、詳しくは美術館へお問い合わせください。

広く市民から美術作品を募り、発表と鑑賞の機会を設けることにより美術の振興に寄与することを目的に毎年開催している公募展です。一般出品作品の中から選ばれた優秀作品には賞状と副賞が贈られます。



特別企画展
米子の書 - 先人と現代書の祭典 -

会場：第1・2・4 展示室

会 期：7月21日(日)～8月25日(日) [水曜日休館]

観覧料：一般 500 (前売 400) 円、大学生以下無料
* 次の方は50円引き (割引重複利用不可)
10人以上の団体、70歳以上の方、障がいのある方 (付添1名含む)、リピーター (本展観覧券の半券を持参の方)、米子市美術館後援会、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」ご持参の方など、当日料金の50円割引
主催：米子市、米子市教育委員会、(一財) 米子市文化財団 米子市美術館
協力：米子地区書道連盟

米子は書道人口が多い地域です。江戸末期、児玉玉立 (1794-1861) が米子地域の書活動を流布し、それを受け継ぐ書家たちが、明治、大正、昭和と米子の書を発展させてきました。本展は、昭和期 (特に昭和20年以降) の先人の米子の書を中心に、また現在書活動を行っている作家たちの作品もあわせて紹介します。

関連事業：高校生による書道パフォーマンス、ワークショップ
「書に親しもう!!」、おやこアートじかん、ギャラリートークなど。



児玉玉立《羅隠詩 牡丹》制作年不詳 六曲一雙屏風



古澤龍巢《孝経》1875年 六曲一雙屏風部分

共催展 **AIR475 2024 鎌田友介 / 白川昌生**

会場：第3 展示室

会 期：鎌田友介展 7月19日(金)～8月4日(日)
白川昌生展 8月9日(金)～8月25日(日)

観覧料：無料
主催：AIR475 共催：鳥取県、米子市、米子市教育委員会、(一財) 米子市文化財団 米子市美術館
AIR475 (エアヨナゴ) は地域の歴史、文化、風土をアーティストの視点から発掘し、活用するアートプロジェクトです。2023年に実施したりサーチを基に、二人のアーティストが米子に因んだ美術作品を制作、展示します。

共催展 **共に生きるアート展 KANSEI 11**

会場：第4 展示室

会 期：10月1日(火)～10月7日(月) [水曜日休館]

観覧料・出品料：無料
主催：米子市 共催：米子市教育委員会、(一財) 米子市文化財団 米子市美術館
米子市内の障がい者施設を利用されている、障がいのある方により制作された絵画、書、写真、イラスト等を展示します。

第68回 **鳥取県美術展覧会 (県展)** ※米子会場

会場：全館

会 期：10月12日(土)～10月20日(日) [会期中無休]

観覧料：無料 作品搬入日：8月31日(土) 9:00～15:00
搬入場所：鳥取県立武道館 (米子市両三柳 3192-14)
部 門：洋画・日本画・書道・写真・工芸・彫刻・版画・デザイン
出品料：1点につき2,000円 (学生以下は無料)
主催：鳥取県、鳥取県教育委員会 共催：米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館
県民から公募した作品のうち、入選作品を展示します。

コレクション展

会場：第2 展示室

I **作品の響き** 会 期：9月8日(日)～10月6日(日) [水曜日休館]

II **光と影** 会 期：10月27日(日)～12月1日(日) [水曜日休館]

観覧料：一般 330 (270) 円

* () 内は15人以上の団体、Feel友の会・米子市歴史館友の会会員、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」、鳥取県ミュージアム・ネットワーク 加盟館のチケットや年間パスポートなどご持参の方の料金
* 大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方 (付添1名含む) 及び米子市美術館 後援会会員の方は無料

文化の日 [11/3(日)] と関西文化の日 [11/16(土)・11/17(日)] は観覧無料!

特別共催展 II
ミニチュア ライフ
MINIATURE LIFE 展 2 田中達也 見立ての世界

会場：第1~4 展示室

会 期：2月8日(土)～3月24日(月) [会期中無休]

観覧料：調整中
主催：米子市、米子市教育委員会、(一財) 米子市文化財団 米子市美術館、新日本海新聞社

国内外各地で人気を集めた「MINIATURE LIFE 展」がさらにバージョンアップして戻ってきます。日用品とジオラマ用人形を組み合わせ日常にある物を別の物に見立てたアート作品を作り出すミニチュア写真家・見立て作家の田中達也さん。氏の独自の世界感が会場を埋め尽くします。作品とタイトルは思わず笑顔になり、「さすが」と唸るものばかり。本展では写真作品約120点と立体作品約50点を展示し、地元限定作品も登場します。遊び心あふれる田中さんの作品は、いずれも写真撮影が可能。



《そんなバナナ》2015年



《おスシティー》2018年



《お菓子な虹》2019年



《楽しい勉強》2016年



《ハングリーハンター》2017年 © Tatsuya Tanaka